

リターナブル容器管理システム

立山科学工業株式会社
株式会社立山科学ワイヤレステクノロジー

1. 想定される課題とご要望

- ① リターンブル容器の所在が不明で、必要な時に見つからない。
- ② 最適な数量が分からず、容器が余剰となっている。
- ③ リターンブル容器が製造スペースを占有してしまっている。
- ④ 生産計画と連携したい。



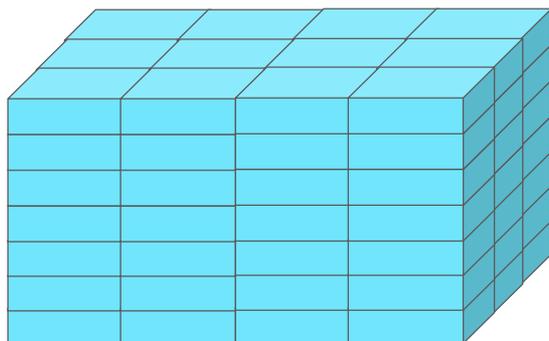
上記内容を解決するシステムを提供します。

2. 導入効果

TATEYAMA

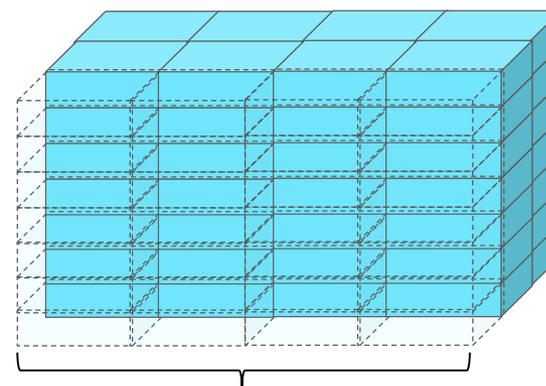
リターンブル容器の所在が即座にPCやタブレットから検索可能です。
生産計画と連携することにより、現在の必要数に合わせて、
リターンブル容器の数を調節可能です。

【従来】



- ・製造スペースを容器が占有
- ・奥にある容器が不明

【導入後】



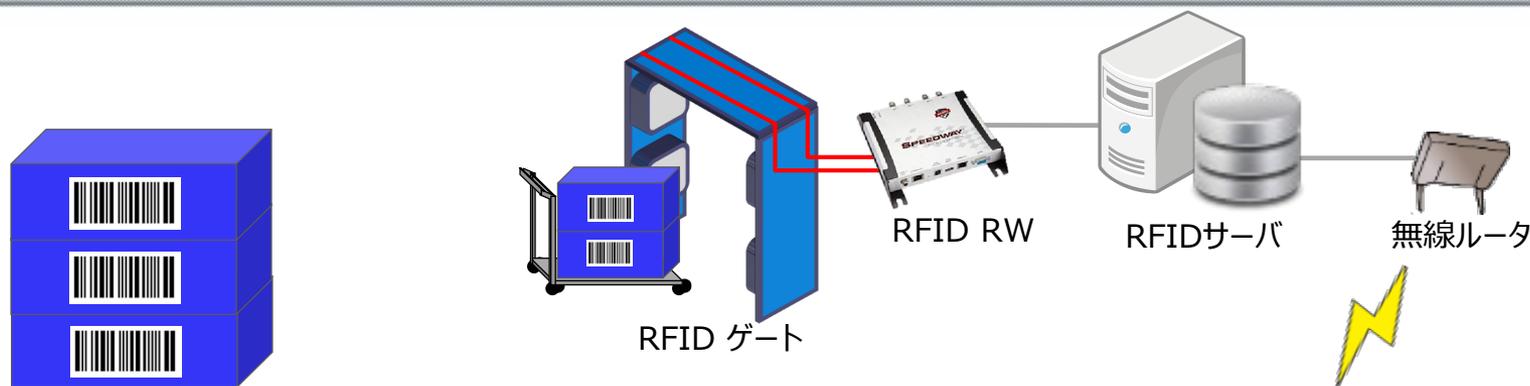
省スペース化

目視不可の
容器を探索

3. 容器の所在検知

TATEYAMA

ハンディターミナルを使用することにより、不明となった仕掛品の探索が可能です。
仕掛品を探す従業員様の手間を省きます。



約 3 m



ハンディターミナル

The tablet PC displays the movement history table:

<移動履歴>			
移動日時	移動先	ID	製品名
2019/3/14 15:00	工程6	000001	製品A
2019/3/13 10:00	工程5	000001	製品A
2019/3/12 15:00	工程4	000001	製品A
2019/3/12 10:00	工程3	000001	製品A
2019/3/11 15:00	工程2	000001	製品A
2019/3/11 10:00	工程1	000001	製品A

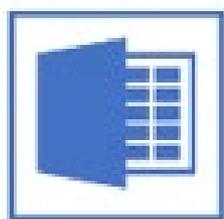
タブレットPC

RFIDゲート通過履歴による所在確認

ハンディターミナルによる探索

4. 容器の過不足確認

生産計画に対して、リターンブル容器の過不足を可視化します。
過剰な容器を整理することにより、製造スペースを確保します。



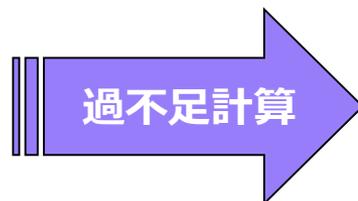
生産計画



移動履歴



マスタ情報



<過不足確認>

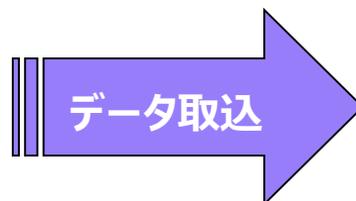
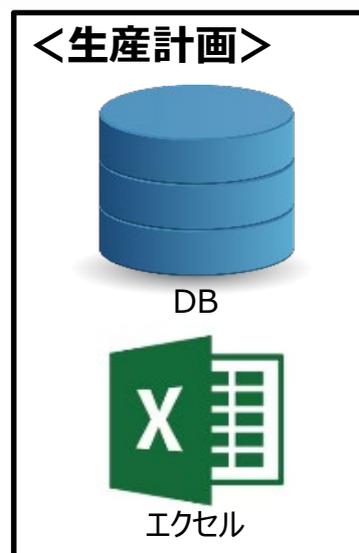
品名	必要箱数	現場箱数	差分
製品A	10	8	-2
製品B	15	15	0
製品C	10	11	1
製品D	20	18	-2
製品E	12	12	0
製品F	16	10	-6
製品G	20	20	0
製品H	18	20	2
製品I	6	8	2
製品J	24	24	0
製品K	20	20	0

タブレットPC

5. 生産計画との連携

TATEYAMA

様々な生産計画との連携が可能です。
データベース、エクセルベースのフォーマットにもカスタマイズ可能です。



RFIDサーバ

<生産計画例(エクセル)>

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	2019. 3月度 生産計画																			
2			日数	製造No.		3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15
3	製品 A	ユニットA	1	000001	業者A	2			2	2	2	2	2			2	1	1	1	2
業者B					2		2	2	2	2	2			2	1	1	0	0		
合計					4		4	4	4	4	4			4	2	2	1	2		
6	製品 A	ユニットB	1	000002	業者A	2			2	2	2	2	2			2	1	1	1	1
業者B					2		2	2	2	2	2			2	1	1	0	0		
合計					4		4	4	4	4	4			4	2	2	1	1		
9	製品 A	ユニットC	1	000003	業者A	2			2	2	2	2	2			2	2	1	2	1
業者B					2		2	2	2	2	2			2	1	1	1	1		
合計					4		4	4	4	4	4			4	3	2	3	2		

データ取込み